

平成19年6月能代市議会定例会

# 市長説明要旨

平成19年6月議会定例会の開会にあたり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要をご報告いたします。

はじめに、能代マネジメントシステムについてであります。私はこれを推進していくことにより、ムダ・ムラ・ムリを無くし、少ないコストと短い時間で市民サービスを提供する行政組織にしたいと考えております。

様々な先進事例を参考に、ノウハウを積み上げながら具体化を進めておりますが、まず、5月から試行的に、総務部総務課において、整理、整頓、清掃、清潔、習慣の5S活動を行っているところであります。

本年度は、業務改善を求め続ける「仕組み」づくりと、それが自発的に進むための「人」づくりに取り組み、平成20年度から全庁体制で進めてまいりたいと考えております。

総合計画についてであります。7月中には一次素案を公表し、市民の皆様から意見募集を開始したいと考えております。

また、意見募集と並行して、市民の皆様による計画策定のための会議を立ち上げ、市民と行政の協働により作業を進めてまいります。

11月中には総合計画案としてとりまとめ、12月定例会で、基本構想案を議会にお諮りしたいと考えております。

国民年金健康保養センターのしろについてであります。この施設は平成17年10月から独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構に所有権が移管され、18年度中に売却される予定でありましたが、秋田わか杉国体が終了するまで、現状のままでの運営を要望してきたところであります。具体的な入札時期等については公表されておりませんが、今年度の譲渡対象施設となっていると伺っており、今後、国体終了後の売却に向けた手続きが進められていくものと考えております。

市といたしましては、現在と同様に宿泊施設としての営業を願っておりますが、施設等の条件を付けない一般競争入札という原則に沿った手続きになることから、今後の入札公告や譲渡の時期などの動向を見守ってまいりたいと考えております。

次に、子育て支援についてであります。ファミリーサポートセンター事業、つどいの広場事業及び子ども一時預かり事業について、市内で保育所を運営している法人を対象に提案を募集しておりましたが、1法人からの提案がありました。

選定については、民間委員の参加をいただきながらプレゼンテーションと選考検討

会を行った結果、事業実施の委託先を特定非営利活動法人メリーゴーランドに決定しました。

つどいの広場と子どもの一時的預かりについては、7月1日からジャスコ能代店3階の多目的ホールで事業開始することとしております。

また、ファミリーサポートセンターについては、子どもの預かり等を行う援助会員の講習会の実施や会員の登録準備があることなどから、10月1日の事業開始を予定しているところであります。

要保護児童への支援についてであります。相談窓口での適切な対応や虐待を受けている児童を早期に発見し、保護する体制づくりが大変重要なことから、庁内に関係部局の職員で構成する能代市児童虐待防止庁内連絡会を設置し、個々の事例に対応してまいりました。

今年度は、要保護児童への支援を更に充実させるため、新たに要保護児童対策地域協議会を設置することとしております。

今後、協議会を組織する行政、地域、民間等の関係機関がそれぞれ役割分担をしながら、的確な支援を行ってまいります。

次に、能代産業廃棄物処理センターについてであります。県は去る3月15日に能代産業廃棄物処理センターの元経営者に対し、廃油入りドラム缶等の撤去等の措置や、遮水壁の構築、処分場の維持管理などに関する措置命令を発出しましたが、5月31日の期限までに、当該措置を行わず当該命令に違反したことから、6月4日に元経営者を廃棄物処理法に基づく措置命令違反で告発しております。

同日午後開催された第11回能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会では、今回の告発のほか、環境保全対策のうち遮水壁工事については5月31日現在進捗率47%で年内には完成する見込みであることなどの報告がありました。また、1及び2処分場に関するこれまでの県の対応について住民団体から厳しいご指摘とご意見があり、県では総括の上、後日報告したいとのことでありました。

県の告発により、今後元経営者の廃棄物処理法違反については司法の場で問われることとなりますが、市といたしましては地元住民の皆様及び県と十分協議し、環境不安等の問題解決に取り組んでまいります。

「その他プラ」の分別を平成20年4月から開始するため諸準備を進めておりますが、容器包装リサイクル法に基づき、財団法人日本容器包装リサイクル協会への引き渡しを行うため、圧縮・梱包する中間処理施設の確保が課題となっております。この度、「その他プラ」とすでに分別している「ペットボトル」を処理する民間の事業

者をプロポーザルによって選定することといたしました。

近く、廃棄物処理事業者から施設の処理能力や設置場所等について提案を求めるため、広報やホームページにより公募を開始する予定であります。

二ツ井町大沢ごみ処理場の閉鎖についてであります。平成18年度末に策定した適正閉鎖廃止計画書では、大沢ごみ処理場の浸出水の水質は基準値以下であり、周辺環境への汚染のおそれが低いことから、現在の状態で閉鎖措置をとることとしております。今後、その対策と工法を検討した上で閉鎖・廃止の実施計画を策定したいと考えております。

能代地域と二ツ井地域で異なっております指定ごみ袋の料金については、先頃開催された能代市廃棄物減量等推進審議会に、統一料金の設定について検討をお願いしているところであります。

今後、同審議会からの意見をいただきながら更に検討を加え、9月定例会には関係条例の改正を提案したいと考えております。

中心市街地の活性化についてであります。地域の関係者や市民の皆様と協議を重ね、今後の中心市街地の基本的な考え方、将来像などを明らかにする中心市街地活性化ビジョンの策定に取り組みたいと考えております。

平成18年11月30日付けでイオン株式会社から提出のありました「(仮称)イオン新能代ショッピングセンターに係る農業振興地域整備計画の変更の申出書」に関してであります。19年3月19日付けでイオン株式会社から、地権者1名の同意が得られないことから、3月定例会でご説明いたしましたとおり再度面積変更の申し出がありました。このため、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、4月10日までに関係団体から意見をいただき、4月27日に秋田県に事前協議書を提出しております。

次に、二ツ井地域水道整備事業についてであります。二ツ井、荷上場、切石、天神及び種梅の5地区については、二ツ井地域水道整備事業計画の概要を示し、現在の飲用水状況、市が水道整備した場合に加入するかどうかなどの意向調査を今年2月に実施しております。

調査の結果についてであります。回答率71%のうち、整備水道へ加入するとの回答は41%となっており、前回の調査と比較して、整備への理解は若干増したものの、現計画どおりの事業実施には時間がかかるものと考えております。

しかしながら、水不足や水質で苦慮している地区もあることから、これらの地区については、どのような手法で整備が可能となるか、水道組合連絡協議会や地域協議会のご意見を踏まえながら検討してまいりたいと考えております。

二ツ井町三千苅地区の8世帯において、飲用水としている地下水から基準値を超えた有機塩素化合物が検出されたことを3月定例会に報告していましたが、その後、6世帯の井戸は、取水位置を浅くすることにより基準値以内となりました。

基準値を超えている2世帯のうち1世帯は、他の飲用井戸に接続して使用し、残り1世帯には引き続き給水を行いながら、新たな井戸の掘削と吸着装置などの工事を実施中であります。

現在、三千苅地区及び周辺の井戸の状況や地質などの情報を収集しており、その結果を踏まえて、周辺地区のモニタリング調査を県と協力しながら実施することとしております。

水道料金の過誤徴収がありましたので、ご報告いたします。

この度、平成6年以降の水道料金の一部に、本来の料金より過分に徴収しているものが10件、182万3,638円あることが判明いたしました。

原因は、不適切な事務処理によるもので、ご迷惑をおかけした皆様には十分事情をご説明申し上げており、関係予算議決後、早急に返還することとしております。

市といたしましては、コンピューターシステムの一部を変更するとともに、チェック体制を強化し、再発防止に努めてまいります。

水道を利用されている市民の皆様の信頼を失うこととなりましたことに対し、深くお詫び申し上げます。

次に、秋田わか杉国体開催まであと116日となりました。今月9日には秋田わか杉大会リハーサル大会が、また8月にはデモンストレーションとしてのスポーツ行事「ママさんバスケットボール」が開催され、そして本大会と続いてまいります。

さらに、国体の気運を盛り上げ、成功を誓い合うため、今月23日に「秋田わか杉国体100日前イベント」を開催するほか、8月30日には、市内12区間で大会旗・炬火リレーを実施することとしております。これらのイベントは、広く市民の皆様の参加を得て行うこととしております。

全国から来能される選手・監督等大会関係者の皆様を、温かいおもてなしの心でお迎えするため、市民運動推進協議会を中心に、花いっぱい運動や環境美化運動、手作り記念品の作製、選手・監督を最寄駅で歓迎し、競技会場で応援する歓迎応援運動を実施することとしております。

また、二ツ井地域の民泊受け入れについては、地元食材などを取り入れた「二ツ井まごころメニュー」をもとに調理講習会を行うほか、7月には、民泊家庭の委嘱状交付を兼ねた民泊推進大会を開催し、地域の方々と一致協力して受け入れ準備を進めてまいります。

二ツ井地域防災行政無線施設整備工事についてであります。株式会社富士通ゼネラル東北情報通信ネットワーク営業部に対しては、3月22日付けで契約解除通知を送付しました。同社が施工した子局の建柱工事については、3月29日に検査を行い、出来高金額が1,387万2,600円であることを市、請負業者、工事管理業者で確認し、違約金1,081万5,000円と相殺のうえ支払っております。

本日、新たに入札の公告を行うこととしており、年内中の運用開始を目指してまいります。

二ツ井統合小学校については、建設予定地の地権者から用地買収の承諾をいただきました。また、設計プロポーザル競技により設計業者を決定しており、このあと児童や学校、PTA、地域の方々と意見交換を行いながら基本設計を進めてまいります。

建設予定地の用地造成については、国土交通省のご協力により、河道掘削土を活用することとし、8月上旬ごろから施工できるよう協議を進めております。

第四小学校の改築についても、学校関係者との協議を行い、基本設計を進めております。

能代市成人式についてであります。来る8月14日、能代市文化会館を会場に、全市合同で開催いたします。

合併前は旧市町において対象年齢が異なっておりましたので、本年度から年齢を統一して行うこととしており、対象者は約740人です。

新成人の実行委員会による主体的な式典運営となるよう、準備したいと考えております。

能代球場の愛称と展示コーナーの設置についてであります。去る5月2日に榊地区自治会連合会ほか5団体から、また、5月23日には能代市体育協会から、能代市出身の元プロ野球選手である山田久志氏に因んだ愛称を付すことについて要望書が提出されております。また、山田氏からは、地元のこうした動きに応え、自身が所有する輝かしい栄光の品々を、展示用として市に寄贈する意向が示されております。市といたしましても、投手として通算284勝の偉大な記録を残し、昨年野球殿堂入りした山田氏の功績を称えるとともに、青少年に夢と希望を抱かせるまたとない機会とと

らえ、秋田わか杉国体に合わせ準備を進めてまいりたいと考えております。

次に、単行議案の主なものをご説明いたします。

字の区域の変更については、種地区経営体育成基盤整備事業（区画整理型）区域内の字の区域を変更しようとするものであります。

能代市国民健康保険税条例の一部改正は、地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の基礎課税限度額を引き上げようとするものであります。

土地の取得については、二ツ井統合小学校建設用地として土地を取得しようとするものであります。

能代市浄化槽の整備に関する条例の一部改正は、浄化槽の設置に係る標準事業費の額及び分担金の限度額を改定しようとするものであります。

市道路線の認定及び廃止については、開発行為に伴う寄付行為等により市道路線を認定及び廃止しようとするものであります。

このほか、専決処分した能代市市税条例の一部改正及び平成18年度能代市一般会計補正予算、平成19年度能代市老人保健医療特別会計補正予算の承認議案などを提出いたしております。なお、専決処分した平成18年度能代市一般会計補正予算の特別交付税に、能代産業廃棄物処理センターに係る水処理費等として、1,500万円が盛り込まれております。

平成19年度能代市一般会計補正予算案の概要をご説明いたします。

この度の補正予算は、これまでに国・県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業については、当面緊急を要するものについて補正をいたしております。

まず、歳入の主なものとしては、訓練等給付費国県負担金、保育所運営費国県負担金、財政調整基金繰入金の増額、後期高齢者医療制度創設準備事業費国庫補助金の追加等であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

総務費においては、高速インターネットアクセス網整備事業費補助金558万6千円等を計上いたしております。

民生費においては、就労継続支援サービス費（訓練等給付費）3,168万7千円、後期高齢者医療制度電算システム構築費5,463万1千円、国民健康保険特別会計

繰出金 4,507万1千円、法人保育所等運営費負担金 2,425万8千円等を計上いたしております。

商工費においては、商業活性化総合支援事業費補助金 900万円、中心市街地活性化ビジョン策定事業費 495万9千円等を計上いたしております。

土木費においては、道路台帳補正業務委託費 898万1千円等を計上いたしております。

教育費においては、奨学基金積立金 508万円、机・椅子購入費 419万円、能代球場管理棟展示棚設置費等 579万3千円等を計上いたしております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は 2億1,230万円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は 237億5,130万円となります。

このほか、平成19年度各特別会計補正予算案及び水道事業会計補正予算案につきましては、提案の際、ご説明いたしますので省略させていただきます。

なお、能代市公共下水道水管橋圧送管増設工事委託契約に係る議案を後日追加提案する予定であります。

以上、よろしくご審議のうえ、適切なお決定をたまわりますようお願い申し上げます。